



横浜市

I★YOKOHAMA

横浜 DeNA ベイスターズ



未来につながる横浜の部活動を共創 プロスポーツの知見を学校現場へ展開します

横浜市では、地域や企業等と連携した新たな部活動のあり方の検討を進めており、このたび、横浜DeNAベイスターズとの「I★YOKOHAMA協定」*に基づき、プロスポーツチームの専門的知見を活用した取組を開始します。本取組を通じて効果や運営手法等を検証し、将来の部活動地域展開等につながるモデルづくりを進めます。

部活動地域展開に向けた連携事業（モデル実証）

実施校：横浜市立桂台中学校（栄区） 校長：笹原 洋子

実施期間：令和8年9月29日（火）～令和9年3月

実施回数：全10回程度（9/29、10/19、10/30、11/27 ※以降調整中）

実施時間：1回あたり約2時間

対象：桂台中学校の運動部活動に所属する生徒（約150名）、顧問教職員

内容：横浜DeNAベイスターズのスクールコーチに來校いただき、競技種目を問わず、基礎的な身体の使い方を身につけ、怪我をしにくい体づくりにつなげるためのトレーニングを実施します。また、教職員に対しても指導方法や傷害予防等に関するプロスポーツチームの知見を共有し、学校現場における活用を図ります。

なお、本取組では、プロスポーツの現場で培われた知見を活用し、自ら学び考える力を育み、生徒の身体の発達段階や運動特性を踏まえながら、安全かつ効果的に運動能力を高めるものです。

<目指す生徒の姿>

- ☆ 専門的なトレーニングによる、種目を横断した運動能力の向上
- ☆ 正しい身体の使い方を学び、安全に運動を継続するための基礎づくり及び怪我の防止
- ☆ スポーツや文化的活動への興味・関心の向上とウェルビーイングの実現

<目指す教職員の姿>

- ☆ プロスポーツの現場で培われた知見を活用し、指導における着眼点の拡大
- ☆ 傷害の予防に関する知識習得等の安全管理意識の向上
- ☆ 教職員の人材育成及び教職員志望者の増大

<横浜市が目指す姿>

- ☆ プロスポーツの現場で培われた知見を生かした「生徒の可能性を広げる部活動」の推進
- ☆ 実施結果の検証を通じた効果的なプログラムづくり
- ☆ 地域のプロスポーツチームや企業等が学校と連携して部活動を支える本モデルを検証し、将来的な地域展開等を見据えた横浜らしい持続可能な部活動基盤の構築

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



取材について

取材をご希望の場合は、実施日の2開庁日前17時までに、教育委員会事務局学校経営支援課部活動担当（E-mail: ky-bukatsu@city.yokohama.lg.jp）へご連絡ください。

横浜 DeNA ベイスターズからのコメント

株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員 / 野球未来創造本部 本部長 鐵^{てつ}智^{とも}文^{ふみ} 様

横浜 DeNA ベイスターズは、野球はもちろん、横浜の子どもたちがスポーツや文化的な活動に触れ、続けていける環境を、街のみなさまとともに支えていきたいと考えています。

中学校の部活動の地域展開は、一つの学校や一つの団体だけで答えを出せる課題ではありません。私たちは、プロスポーツの現場で培ってきた知見や人材、そして横浜という街で築いてきたつながりを生かしながら、横浜市教育委員会とともに、この課題の解決に腰を据えて取り組んでまいります。

桂台中学校での取り組みは、その第1弾です。子どもたちが安心してスポーツを続けられる横浜を、教育委員会のみなさまとともにつくってまいります。

そしてベイスターズは、ファンのみなさま、企業・団体・行政のみなさまとともに、野球界の明るい未来に向けて歩んでまいります。

*「I☆YOKOHAMA協定」：株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社横浜 DeNA ベイスターズ、株式会社横浜スタジアムの3社と横浜市が、平成29年3月10日に締結した、スポーツ振興と地域経済活性化等に向けた包括連携協定。

※本件は横浜 DeNA ベイスターズと同時発表しています。

お問合せ先

学校経営支援課長 熊切 Tel 045-671-3233



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

